

大曲RC、タイRCに協力呼び掛け 資材運搬へ軽トラ寄贈

J A おおふなどに2台 台を寄贈した。

支え合おう 東北

秋田からできること

大曲ロータリークラブ（R C、相馬完会長）は28日、タイのロータリークラブ12団体と共同で、東日本大震災で被災した岩手県大船渡市のJ A おおふなど（菅生新一組合長）に資材運搬用の軽トラック2

台を寄贈した。大曲RCが同市での支援を検討する中で、現地からの要請を受け、農業資材を運ぶ車の多くを津波で流された同J A の支援を決定。会員同士の交流があったタイのRCにも協力を呼び掛け資金を集めたほか、国際ロータリー財団が設立した東日本震災復興基金からも補助を受け計186万円で購入した。



この日は、大曲RC会員5人と、来日中のタイ国ロータリー3350地区のステュワード元ガバナーら16人が同J A を訪問。現地の大船渡西

「タイはこれまで日本に支援してもらってきた。今度は私たちが復興の手伝いをしたい」とあいさつした。ステュワード元ガバナーは「タイはこれまで日本に支援してもらってきた。今度は私たちが復興の手伝いをしたい」とあいさつした。菅生組合長は「大船渡の住民は、これまでも大きな津波被害から立ち直ってきた。長い時間がかかるが、この地の農業と経済の復興に向けて頑張る」と断言を述べた。（大原進太郎）

軽トラックの鍵と車検証を手渡す相馬会長（左）とステュワード元ガバナー